

018
二〇二五年度 高知大学入学試験問題 (学校推薦型選抜I)

小 論 文

試験時間 六〇分

人文社会科学部 人文社会科学科 国際社会コース (A選抜)

問題冊子 問題…………… ページ 一〇二
解答用紙……………一枚
下書用紙……………一枚
配点……………一〇〇点

注意事項

- 一、試験開始の合図まで、この問題冊子を開かないこと。
- 二、試験中に問題冊子・解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び下書用紙の不備等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- 三、試験開始後に、問題冊子・解答用紙・下書用紙の枚数を確認し、解答用紙に受験番号を記入すること。
- 四、解答用紙には、必要事項以外は記入しないこと。
- 五、解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入すること。
- 六、配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
- 七、試験終了後、問題冊子・下書用紙は持ち帰ること。
- 八、試験終了後、指示があるまでは退室しないこと。

一 次の記事を読み、あとの設問に答えなさい。(100点)

持続可能な開発をめぐる議論において、今日、主流となっているのは、持続可能な開発を「経済・社会・環境」という3つの「柱」で構成されるものとして捉える概念枠組みである。この概念枠組みを「3本柱フレームワーク」と呼ぶことにしたい。

図1では、経済・社会・環境が、持続可能な開発という「屋根」を支える「柱」として描かれているが、3本柱フレームワークには、この他にいくつかのバリエーションがある。たとえば、図2のように、経済・社会・環境の関係がベン図で示されることも多い。図2では、経済・社会・環境を、それぞれ独立した「柱」というよりもむしろ相互に関連する「領域」として把握すべき点や、持続可能な開発とは経済・社会・環境の3領域の調和、あるいは「win-win-win」関係を目指す点であるという点が明示されている。

また、3本柱フレームワークは、図3のように同心円の図で示されることもある。これは、経済・社会・環境の3領域が、「環境なくして社会なし、社会なくして経済なし」という関係にあることを明確に図示しようとしたものである。

このように、3本柱フレームワークにはいくつかのバリエーションがある。ただ、いずれの場合も、経済・社会・環境を持続可能な開発における3つの柱として把握する点では共通している。

3本柱フレームワークは今日国内外で普及している。しかし他方では、3本柱フレームワークや、それに基づく持続可能な開発の理念や施策に対して、様々な角度から批判的検討もなされている。近年、AIやロボットなどの科学技術イノベーションの推進を通じて「緑の経済成長 (green growth)」を実現しようとする動

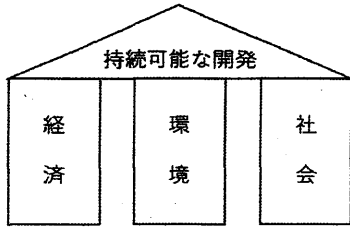


図1：3本柱フレームワーク

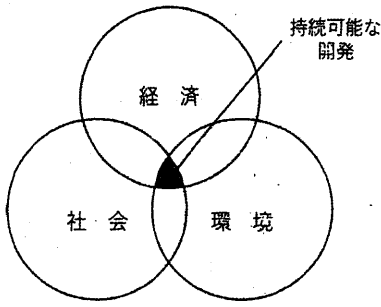


図2：ベン図で示された3本柱フレームワーク

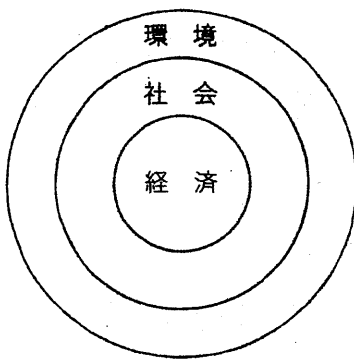


図3：同心円図で示された3本柱フレームワーク

きが世界的に加速しているが、従来の資本主義経済システムを前提とした「緑の経済成長」の取り組みは、「環境」や「社会」に過剰な負荷をかけつつけるものでしかないという指摘は、その最たるものであろう。

(出典 原知章「文化的持続可能性とは何か——日本から問い直す」原知章編『文化的持続可能性とは何か——文化のゆるやかな共鳴を捉えるために』ナカニシヤ出版 二〇一三年。ただし、出題にあたり、全体の趣旨を損なわない範囲で一部省略改変した。)

設問

右の文章の内容を踏まえ、持続可能な開発をめぐる理念や目標、それに基づく施策や計画、そして日々の生活における実践に、私たちはどのように向きあつたらよいだろうか、あなたの考えを四〇〇字以内で述べなさい。